

保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

7/10

メディカル英語 No.9

医学英語の症例報告を読む —— Case Reportの構造と定型表現を読み解く

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合
否判定を行ってきた当事者です。医学英語の症例報告で「専門語が多くて読めなかった」と手が止まる受験生と、Case Reportの6
パート構造と定型表現を知って情報を素早く正確に抽出した受験生の評価の差を、採点者として繰り返し目にしてきた。

1. この講座が有効な入試問題のタイプ

① 症例報告形式の英語読解（応用・定型表現）

慶應義塾大学医学部・東京科学大学・関西医科大学の英語では、症例報告（Case Report）形式の英文が題材として使われる。Chief Complaint・History・Findings・Diagnosis・Treatment・Outcomeの6パートに加え、'The patient presented with…'や'Physical examination revealed…'などの定型表現を知る受験生は、未知の専門語があっても正確に読める。

② 定型表現・診断過程を問う設問

「なぜこの診断に至ったのか本文から読み取れ」という設問は、症例報告の定型表現を理解していなければ答えられない。診断過程を追う力を持つ受験生は即座に対応できる。

③ 医学部推薦の事前課題・口頭試問

症例報告を事前課題として読む形式の推薦入試では、「この症例の経過を要約せよ」という問いが面接で出される。定型表現を知る受験生は準備の質と面接対応力が他の受験生と明確に異なる。

2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
慶應義塾大学 医学部	症例報告・医学英文の読解	6パートの構造と定型表現が情報抽出の精度を高める
東京科学大学	医学英語の症例報告の内容説明	定型表現の習熟が処理速度に直結する
関西医科大学・近畿大学 医学部	医学英語の読解・設問処理	Case Reportの構造を知ることです設問対応力が高まる
医学部推薦・総合型選抜（全般）	症例報告を前提とした口頭試問	定型表現の習熟が事前課題の質と面接対応力を高める

3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

症例報告の英文を「一語一語訳す」アプローチをとる受験生は、専門語と定型表現に圧倒される。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）Case Reportの6パートと主要な定型表現を使って情報を抽出できる、（2）診断過程を本文から追う力が身につく、（3）医学部推薦の事前課題と面接対応力が高まる、という変化が起きる。

何十年も医学部の英語答案を採点してきた清光学院の講師陣は、症例報告の読解で「一語一語の答案」と「6パートの構造と定型表現を知った答案」の評価の差を採点者として知っている。